

全国農政連推薦・県農政連公認
参議院議員藤木しんやの

永田町でも「百姓宣言」

「農業の明るい未来を」

【国会が閉会、食料安保が

骨太方針の柱に

本年1月17日に召集され、6月15日に閉会した通常国会では農林水産関連の重要6法案を可決・成立することができました。今国会では農林水産委員会が3回、予算委員会が2回質疑に立たせていただきました。

なかでも、5月の予算委員会では「食料安全保障」1本に絞って質問しました。私からは、農産物の価格低迷や生産資材価格高騰による農家数の減少、地域農業の衰退等により、食料安全保障が危機的な状況である今こそ、「食料安全保障予算」を十分確保し、農家が再生産可能な価格を形成し、持続可能な農業経営を実現させることで食料安全保障の強化を図っていくべきだと岸田総理大臣はじめ関係閣僚に強く訴えました。

6月7日に閣議決定した骨太方針には、「外交・安全保障の強化」「経済安全保障の強化」「エネルギー安全保障の強化」と並んで「食料安全保障の強化」と農林水産業の持続可能な成長の推進」が単独項目として大きく位置付けることができました。

また、参議院選挙における自民党の公約には「食料の安定供給の確保は国家の最重要の責務であるとの認識のもと、食料自給率・食料自給力の向上に努める」とともに、食料安全保障関連予算を確保することが盛り込まれました。私がJA全青協会長の頃からずっと訴え続けてきた「食料安全保障の強化」がようやく国家の最重要政策として取り上げられるようになってきています。

本格的な議論は今秋から行われますが、この国の食と農を守るために数十年先を見据えた万全な食料安全保障政策の確立・具体化に全力で取り組んでまいります。



▲予算委員会にて岸田総理へ質問

全国・県農政連推薦
参議院議員山田としおの

農政問題に斬り込む

決算委員会、農林水産委員会で質疑しました

【決算委員会での質疑】

5月9日の決算委員会にて農業高校への支援策について質疑しました。

今後、農業を支える若い人材を育成、サポートすることが大切で、特に農業高校は農業を志す若者が学び、成長する場として重要です。これを後押しする環境を整えられているかという視点で対応状況や考え方を問いました。

現状の施策に関する答弁がありましたが、農業を目指す志に添えるだけの環境整備はまだ足りないというのが私の受け止めです。

現場からは実習用の農機や園芸施設が古くて使えない、最新の農業技術や農業経営を学べる環境を整備してほしい、という声をよく聞きます。

思い切った措置を検討実施し、みな一体となって農業高校を支援し、農業、地域を元気にしていきたいでしょう。

【農林水産委員会の質疑】

5月19日の農林水産委員会で「米の生産調整」について質疑しました。

米の生産調整は今や目標配分は行っており、在庫は増加し、米価は年々低落している状況です。

今後の作付け増加と更なる米価の低迷が懸念され、対策を講じる必要があります。このような対応を考えるか、そして政府の覚悟を問いましたが、「産地ごとの在庫状況や銘柄ごとの価格動向などの情報提供や、計画的な保管販売するための事業拡充を進め、販売者、生産者、自治体も含めて、一体感のある需要に応じた生産を図りたい」という答弁でした。

出来秋の豊凶の結果と価格は、生産・流通・販売にかかわった関係者で責任を取ってください、ということなのかと懸念を抱かざるを得ません。

国も言めて対策が必要なのは事実で、網羅的な政策論議を行わなければなりません。しっかりと取り組んでいきます。頑張ります。



▲決算委員会にて